

## 第1部 新学力観と学びの多様性の理解

- 1章 新学力観が目指す「主体的、対話的で深い学び」の具体的な姿
  1. 学びに向かう人間性
  2. 思考・判断・表現力
  3. 知識・技能の定着・体系化（学びの多様性に即した学び方の紹介）
- 2章 個別・最適化のためのアセスメント
  1. MI (Multiple Intelligence) の理解
- 3章 UDL「学びのユニバーサルデザイン」とは
  1. 日本におけるUDLの現状
  2. UDLの基本的な考え方
  3. UDLを実践するための3ステップ
  4. CASTによるUDLガイドライン
  5. UDL授業デザインの流れ
- 4章 グループ活動を進める上で必要なファシリテーション力

## 第2部 学びの多様性を活かした授業実践

- 1章 高校通級での「自立」に向けた包括的なサポート
  1. 高校通級での「自立」に向けた包括的なサポート
  2. 「学びの多様性を活かした教育プログラム開発事業」
- 2章 通常学級におけるUDLの実践
  1. 通常学級の高校数学の授業におけるUDLの実践事例

2. 高校2年生 英語の授業における UDL の実践事例
- 3章 水都国際高等学校での「探究」の授業実践
  1. 学校全体での IB の取り組み
  2. アートにおける「探究」授業の紹介
- 4章 「総合教養」における、アンガーマネージメントを活用した内省の深まり
  1. 「総合」の授業の紹介
  2. アンガーマネージメントにおける「自己理解」の深まり
  3. ファシリテーション力
- 5章 体験学習のサイクルと思考力の深まり
  1. 体験学習のサイクルの概要
  2. アドベンチャーデザインにおける学習促進の役割とストレッチゾーンの重要性
  3. アドベンチャーデザインにおける体験と学び
  4. 学校事例に基づく具体的なプログラムの説明と解説
  5. 実践による効果について
  6. 学びを促進するファシリテーションの要点
- 6章 「科学と数学の体験学習」を通じた探究の実践
  1. ELMS（エルムズ）センターについて
  2. 探究における MI の活用
  3. MI を採り入れたファシリテーション
  4. 大学におけるパラシュートづくりの実践
  5. 学生の反応